

公 報

○工部省告示第16號

佐賀縣下伊萬里廳分局ヨリ今茲下屋津鐵道下屋山鐵道分局ヨリ全區下江邊へ電線架設右兩所へ分局ノ設置シ來ル七月一日ヨリ開局音信料ノ號ヘ左ノ通ニ候従此自告示候事

明治十七年六月十七日 工部省 佐々木高行

一鹿澤分局ヨリ開局伊萬里ヘノ和文書音信料金七錢歐文ハ

金五錢五錢ヲ拂フヘ

一東京其後各分局ヨリ唐津ヘノ和文書音信料ハ伊萬里マテノ

銀五錢五錢ヲ拂フヘ

一江慈分局ヨリ鹿屋福山ヘノ和文書音信料金七錢歐文ハ

金五錢五錢ヲ拂フヘ

一東京其他各分局ヨリ江邊へ電線架設右兩所へ分局ノ設置シ來ル

金五錢五錢ヲ拂フヘ

一東京其後各分局ヨリ唐津ヘノ和文書音信料金七錢歐文ハ

金五錢五錢ヲ拂フヘ

一東京其後各分局ヨリ伊萬里ヘノ和文書音信料ハ伊萬里マテノ

銀五錢五錢ヲ拂フヘ

一東京其後各分局ヨリ鹿屋福山ヘノ和文書音信料金七錢歐文ハ

金五錢五錢ヲ拂フヘ

一東京其後各分局ヨリ江邊へ電線架設右兩所へ分局ノ設置シ來ル

金五錢五錢ヲ拂フヘ

一東京其後各分局ヨリ伊萬里ヘノ和文書音信料金七錢歐文ハ

金五錢五錢ヲ拂フヘ

一東京其後各分局ヨリ鹿屋福山ヘノ和文書音信料金七錢歐文ハ

金五錢五錢ヲ拂フヘ

公 報

○工部省告示第16號

佐賀縣下伊萬里廳分局ヨリ今茲下屋津鐵道下屋山鐵道分局ヨリ全區下江邊へ電線架設右兩所へ分局ノ設置シ來ル七月一日ヨリ開局音信料ノ號ヘ左ノ通ニ候従此自告示候事

明治十七年六月十七日 工部省 佐々木高行

一鹿澤分局ヨリ開局伊萬里ヘノ和文書音信料金七錢歐文ハ

金五錢五錢ヲ拂フヘ

一東京其後各分局ヨリ唐津ヘノ和文書音信料ハ伊萬里マテノ

銀五錢五錢ヲ拂フヘ

一東京其後各分局ヨリ伊萬里ヘノ和文書音信料金七錢歐文ハ

金五錢五錢ヲ拂フヘ

一東京其後各分局ヨリ鹿屋福山ヘノ和文書音信料金七錢歐文ハ

金五錢五錢ヲ拂フヘ

一東京其後各分局ヨリ江邊へ電線架設右兩所へ分局ノ設置シ來ル金五錢五錢ヲ拂フヘ

一東京其後各分局ヨリ伊萬里ヘノ和文書音信料金七錢歐文ハ

金五錢五錢ヲ拂フヘ

一東京其後各分局ヨリ鹿屋福山ヘノ和文書音信料金七錢歐文ハ

金五錢五錢ヲ拂フヘ

諸ノ精粗良惡ナ拂ズレバ以有其ニ長短得失アラン之ヲ論ズルハ斯圖水揚論ニシテ既觀アル可カラズト説明セント欲セバ法ノ事ニハ不案内ナレバ教法ノ内部ニ立入りテ真正邪善惡事論評スルナ好ヘアレナリ故ニ我輩ガ下文ニ陳述スル説ヘ全ク人生一般ノ狀態ヨリ觀察シテ全体人間社會ニ起レル百般ノ競争ニ於テ如何ナル者ガ勝チ得テ如何ナル者ガ敗チ取スル可ヤト者ヘ是ヲ據シテ教法上ニ競争ニ及ベシ其論断ノ結果ナリ

下ス者ナレバ仮令ヒ我輩ガ甲ナ評シテ乙ニ勝ツ可シト言フシ其吉ハ強ナ一方ノ教義ナ他ノ教義ニ優ルト云フノ意ニ非アルヲヘ讀者諸君ソ幾處ノ論調セラレントナリ斯ク論論ノ筋道ナ定メタル上ニテ此問題ニ入り仔細ニ觀察スルニ我輩ノ所見コアハ氣ノ毒ナガラ佛教ハ耶蘇教ト競爭シテ永ク今日ノ地位ナ保續スルヲ能ハズシテ耶蘇教ハ遂ニ日本一般ニ流行スルコ至ル可シト思ヘル、ナリ勿論我輩ノ非ズ今日ノ有様ニアハ日本國中學者十君子ノ類ト少數ナル神官等ナ除クノ外ハ一人トシテ佛教信者ニ非ザルハナク耶蘇信徒ノ如キハ僅ニ其千百分ノ一ニ過キアルが故ニ無論耶蘇全盛ノ姿ニシテ又今後逆モ一國民ノ改宗トテハ決シテ佛敎全盛ノ勢力ヲ占ムル歟或ハ少ナクモ之ガ一大敵宗トナル迄ニハ許多ノ歲月ナ費ス可キハ勿論ナレニ此等ノ事情ナル遂ニハ結局其勝利ハ耶蘇教ノ方ニ在リト謂ハザルナ得ザルナリ請フ是ヨリ其理由ヲ説カシ抑教法上ノ競爭ニテ勝考フル片ハ結局其勝利ハ耶蘇教ノ方ニ在リト謂ハザルナ得ト云ヒ負クト云ハ如何ナル意義アト云フニ勝ツトハ多數人民ノ意向ナ受クルノ謂ヨシテ僕クルトハ之ニ反シテ獨リ少數人民ノ歸依ナ得ルノ義ナリ或ハ之ナ人ノ信心ナ教徒ノ義ナリ謂フモ其義ハ同一ナラソ然ル片ハ先ダ初メニ人ノ信心ナ取捨スル力アル者ナ有スルニ佛者ト耶蘇教徒（本文佛者トハ耶蘇ノ僧侶コシテ耶蘇教徒トハ耶蘇教ノ僧侶ト稱シテ之シ但ニ一教ノ信者ナハ佛教徒者惑クハ耶蘇信者ト稱シテ之信心ナ取捨スル力アル者ナ有スルニ佛者トハ耶蘇教徒（本文佛者トハ耶蘇ト新入ノ耶蘇教トガ互ニ相爭フナハ其勝敗ハ如何ニ決考ナヤトノ問題ナ考究セント欲メ甚シ佛敎ト耶蘇教トハ日本ニ流行スベキ勢アルナ見ルナリ我輩今其然ル所以ナ説教セシテ耶蘇教ト新入ノ耶蘇教トガ互ニ相争フナハ其勝敗ハ如何ニ決考ナヤトノ問題ナ考究セント欲メ甚シ佛敎ト耶蘇教トハハ永年ナリハ佛敎ニシテ永ク今日ノ地歩ナリ堪クハ耶蘇教ナレバ佛敎ニシテ永ク今日ノ地歩ナリ堪クハ耶蘇教

此五者ガ人ノ信心ナ取捨スル力アルヲト説明セント欲セバ其倒底ニ芝シカラズト難を思フコ其理ト事實ト共ニ明白簡易シテ理解ナレ讀者諸君ハ自カラ記ク之ヲ會得スベシト第二ノ疑問ニ進ミ此五個ノ元素ナ有スルハ佛者ト耶蘇教徒交際上ニ於テ人ノ信心ナ取捨スル元素ナリト定メア直ナニト孰レカ最セ多キナ者覺セントス（以下次號）

○六月十七日午後四時二十分神戸署 三條太政大臣には只今東京丸に乘込み歸京の途に就き

電 報

○内閣出御 聖上には御不例以來内閣へ出御ばされざりしる昨日午前十時伊藤宮内卿の御先導にて内閣へ出御在せ給ひ親しく政務を聞し召され正午十二時入御邊ハされざるに承はる

○花の御宴 皇后宮には御内庭に培植させ給ひし御花壇に

お酒今を盛りと咲き亂せるを以く本日各皇族の御息所を始

め御外戚の方々と宮中へ召させ給ひ賞花の御宴を開かせ給ふよし

○花の御宴 皇后宮には御内庭に培植させ給ひし御花壇に

お酒今を盛りと咲き乱せるを以く本日各皇族の御息所を始

め御外戚の方々と宮中へ召させ給ひ賞花の御宴を開かせ給ふよし

○皇子明宮 同宮には昨日同宮御用掛徳大寺侍従長其他祇

侯華族十名を御前召され給ひ御陪食を仰けられ基際武部

信の伶人を召して奏樂を聞し召されたるよし

○山階宮 は隨伴二名、少壯の日本人士十五名と共に去る

五月廿日米國ナカガラ府に來着し處々遊覽の上顧て総理府より

赴くるゝ筈なり又其少壯人士ハ米國に留學するもあり或之

調査及び佛國に赴きて各學術研究を遂ぐるものもあらんと

五月廿一日ナカガラ府發の報道に見へたり

○沿海巡視 有栖川三品威仁親王始り桜山海軍大輔、仁義

侯、大蔵、内閣、外務、農商、兵庫、財政、鐵道、郵便、通商、

鐵道、農商、外務、通商、兵庫、財政、鐵道、郵便、通商、

鐵道、農商、外務、通